

令和元年度 第 2 回学校支援地域本部事業 運営委員会（議事録）

令和2年2月18日(火)

我孫子市教育委員会大会議室

10:30～

我孫子市教育長 教育総務部長 運営委員 8 人 事務局 2 人

1. 開会

2. 会議の公開について

傍聴人なし

3. 教育長挨拶

今年度より運営委員会の組織を整え、年 1 回から 2 回の開催になりました。以前に比べて学校も地域も変わってきました。学校は地域の核となるとともに、地域の思いもあります。子どもたちは地域全体で守っていかなくてはなりません。

我孫子市は今小中一貫教育を進めていきます。小学校、中学校でばらばらになっていた地域とのかかわりを中学校区で組織立てていけたらいいと考えています。この運営委員会では今後どのようにしていけば良いのかを話し合っていたきたいと思います。

4. 報告・方針

令和元年度活動報告、令和 2 年度活動方針について

令和元年度の活動の基本方針として 3 つの柱に基づいて活動しました。

まず中学校区を単位とする学校支援地域本部づくりに取り組み、中区ごとのチームを決め連携を深めました。それから我孫子市学校支援地域本部と各中学校区の本部との連携を図りました。次に各中学校区のニーズに合わせた学校支援活動を実施しました。

ボランティアの活動状況としては延べ参加人数を見ると横ばいかやや減少傾向にあります。これはニーズとバランスが取れている状況なのか今後検証していきたいと思います。具体的な内容としては、読み聞かせ、学習支援、部活動支援、環境支援、登下校の見守り等があります。子ども子育て支援に係るニーズ調査によると登下校時の見守りはより必要との意見が多いです。

今後は学習支援も大きく広げていきたいと考えています。

学生ボランティアについては、高校生はできる日が限られていること、ガイダンス明けでないと実施できないので活動が 5 月以降になってしまうところがネックですが、夏休みの学習支援はとても評判がいいので今後につなげていきたいです。

運営委員会を年 2 回、研修会を 3 回実施しました。2 回目はコーディネーター担

当者研修会を県の研修会と兼ねて布佐中学校で行いました。3回目は県の担当者を招聘して講演会を実施しました。

3回目の1月21日実施した学校担当者、地域コーディネーター会議では、講演会の後、中区ごとに自己評価をしてもらいました。

令和2年度の活動方針としては

- 1) 小中一貫型学校運営協議会を支援する体制づくり
 - 2) 学校と地域が連携・協働した地域学校協働活動の推進
- に取り組んでいきます。新しい組織を作るというより既存の組織でより連携し広げていきたいと考えています。

5. 協議

事務局 令和元年の活動方針と令和2年度の方向性について協議していきます。

我孫子市は小中一貫教育を推進しています。布佐中学校区でスタートし平成31年度はすべての中学校区において始めたところです。

小中一貫教育の目的は、中1ギャップといった環境の変化についていけない児童、生徒の不安の解消です。小学校6年生の児童が中学に集まり中学校の授業や部活動を体験することによって、ゆるやかに中学校につながることで中一ギャップを解消することに一定の効果がでてきていると思います。また学校支援地域本部も今まで中学校区として活動し、小中一貫教育を支えていく土台になり得る組織です。

学校支援地域本部事業については国からはもう一歩進んだコミュニティースクールを目指すように言われています。我孫子市では小中一貫教育と一体となった学校支援地域本部を進めていきます。コミュニティースクールといった新たな事業ではなく既存の事業をより広げるように進めていきたいと考えています。

小中一貫教育を支えるようなコミュニティースクール。地域のコーディネーターの方にはより多く学校に関わっていただけるような仕組みづくりと一緒に考えていただきたいです。

地域住民の立場からいかがですか。

地域コーディネーター代表

コーディネーターとして学校からの依頼に基づいて活動しています。この活動は学校とコーディネーターとの連携が重要です。それにはどういった支援が必要かなど事前の打ち合わせが必要です。最近ですが、ある程度活動が進んでから報告といった形で話をもらいました。そうではなく事業と一緒に取り組んでいくために事前に打ち合わせをしていきかけたです。

浴衣の着付け、制服カバーの制作、書写などいろいろな支援をやっております。やはり連携していくのが大切だと思います。

議長 ボランティアを集めることにはいろいろな苦労があるかと思います。その辺の

実情を教えてください。

地域コーディネーター

今現在200人くらいの登録ボランティアがいます。そこでできるだけ対応します。PTA にもお願いすることもあります。自分としてはなるべく多くの地域の人たちに手伝ってほしいと思います。またキャリア教育の講師など登録ボランティアで対応できないものについては自分自身でできる方を探していくことがあります。

議長 まさしくコーディネートですね。PTA の立場からいかがでしょうか。

PTA 代表

PTA としての関りでいうと PTA は学校単位で活動しています。中区で PTA の活動といったことはイメージがわかりません。

事務局 小中一貫教育が我孫子市の教育の柱になっています。しかし PTA を中区で1つにすることはしません。地域の子どもたちを育てていくのに小学校だけではなく中学校区で、地域とともに取り組みましょうということです。地域の子どもたちを育てるために小中一貫教育は必要で、そのための 1 つの方法として学校をサポートする、今まで積み重ねてきた学校支援地域本部事業を継続しつつ、各校 PTA とも連携していきます。

議長 PTA の組織は今まで通りで、それぞれの学校で足りないところを互いにフォローしあうということ、少し意識して活動をすることでいいのではないのでしょうか。令和3年度にコミュニティースクールを実施となっていますが、市内一斉にできるとは思いません。出来る中区、やりやすい中区からモデルケースになってもらい徐々に進めていきます。市としてコミュニティースクール導入の方針を出していないと補助金がもらえなくなってしまう。

校長会代表

現場の教員だけでやっていくのは限界があります。地域の方に支援していただいたのは大変ありがたいことです。ただコーディネーターも忙しいのでスケジュール調整がなかなかうまくいきません。

コミュニティースクールに関してもできるところから一歩一歩進めていくのがいいのではないのでしょうか。例えば教育ミニ集会を中区でやっています。ここにコーディネーターも関わっていただくというのはどうでしょう。

議長 新たなものを立ち上げるのは大変です。先ほどお話が合った教育ミニ集会などを活かしていくこれは良い取り組みだと思います。

子ども支援課

あびっ子でもボランティアさんに関わってもらっています。あびっ子は学校単位の登録ですが、一人の人が複数校登録していることもあります。学校支援地域本部とは今後も情報を共有していきたいと思っています。

議 長 実情をよく知ってもらって、地域の方のできることをお願いしたい。特に下校時や学校がない日などに、子どもたちが犯罪に巻き込まれたり心細い思いをしないように、地域の方たちに見守りをお願いしたい。

社会福祉協議会

直接学校支援ボランティアに関わっていることはないが学校から直接依頼が来ることがあります。対応できることもあります。専門的な知識がある人を希望されることもあります。その時は対応できないのが実情です。今後、もっと関わってきたいと思います。

生涯学習課

今後コミュニティースクールの推進に当たり、学校支援地域本部を含む地域学校協働活動など地域の方々の協力が必要です。生涯学習課から言えば人材情報を活用してほしい。長寿大学にも依頼してもらっている。そのほかにも講座があるのでより活用してほしい。長寿大学の生徒が各方面で期待されている。社会教育活動として特に教育に係る内容に関して人材を充てていきたい。

議 長 コーディネーターの方と是非つながりを深く持ってほしいですね。生涯学習課の講座で学んでいる方に沢山活躍してほしいです。

教頭会代表

我孫子中学校では着付けなど教職員ではできないようなところにボランティアに来てもらっています。また環境支援をしてくれるのもありがたいです。ニーズの変化を学校だけでなく、教頭会で情報交換をして、どの部分でボランティアを活用できるかの情報を共有していきたいです。

議 長 学校とボランティアのニーズの掘り起こし、その情報を共有できるところがこれから進めていく学校運営協議会になるかと思います。これはこれから整備していくこととなります。人に対する予算はなかなか付けることができません。

例えば学校図書館をネットワーク化したいのですが、バーコード化されていない学校がほとんどです。図書館をネットワーク化したくても、その段階まで進めていないのが現実です。学校司書は中学校では週1日、小学校では2日の勤務です。こういった中ではバーコード化が進まないのです。そういったところに支援があれば、学校図書館が活かされて、子どもたちの学びにも繋がっていくかと思います。入りやすい所からどんどん入っていただきたいし、ニーズも広げてほしいです。

今日いただいた皆さんの意見を活かし、今後はこの方針に沿って少しずつ進めていただきたいと思います。

事務局 今日いただいた意見をいかし運営していきたいと思います。

次回の運営委員会は令和2年4月22日で調整しています。よろしく願います。